

1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、でん粉に関して適切な価格調整を図るため、半期ごとにでん粉の需給見通しを公表している。3月に公表したでん粉の需給見通しの概要は、次の通り（詳細は2022年5月号参照）。

でん粉の需給見通し

【令和2でん粉年度（実績）】

需要量：237万7000トン（前年度比3.5%減）

供給量：241万8000トン（同3.0%減）

【令和3でん粉年度（見通し）】

需要量：244万トン（同2.7%増）

供給量：246万1000トン（同1.8%増）

表1 でん粉の需給見通し

（単位：千トン）

		令和元でん粉年度 （実績）	令和2でん粉年度 （実績）		令和3でん粉年度 （見通し）				
		計	10-3月	4-9月	計	10-3月	4-9月	計	
需要	糖化製品	1,666	750	871	1,621	747	883	1,630	
	化工でん粉	301	121	141	263	145	142	287	
	その他（製紙用、ビール用、片栗粉など）	495	221	271	494	247	277	523	
	合計	2,462			2,377			2,440	
供給	前年度繰り越し	14			32			40	
	国産いもでん粉（生産量）	208	186	—	186	171	—	171	
		かんしょでん粉	28	21	—	21	21	—	21
		ばれいしょでん粉	180	165	—	165	150	—	150
	調整金 徴収 対象	コーンスターチ	2,108	936	1,112	2,048	963	1,123	2,086
		輸入でん粉 （糖化製品、化工でん粉用）	138	60	65	126	68	68	136
		輸入でん粉（その他用）	9	5	5	11	6	7	13
		小麦でん粉	16	8	8	15	8	8	15
	合計	2,493			2,418			2,461	
		次年度繰り越し	32			40			21

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1：でん粉年度とは、10月から翌9月まで。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

表2 国内産いもでん粉の需給見通し

(単位：千トン)

			令和3年10月～令和4年3月 (見込み)			令和4年4月～9月 (見通し)			令和3でん粉年度計		
			かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	上期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	下期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	計
需要	交付金 対象 用途	糖化製品	5	14	19	6	10	15	11	24	35
		化工でん粉	1	21	22	0	15	15	1	36	37
		その他	5	20	25	4	24	28	9	44	53
		小計	11	55	67	10	48	58	21	103	125
	その他の用途	0	28	28	0	37	37	0	65	65	
	計	11	84	95	10	85	95	21	168	190	
供給	前期からの繰り越し	6	34	40	16	100	116	6	34	40	
	生産量	21	150	171	0	0	0	21	150	171	
	計	27	184	211	16	100	116	27	184	211	
次期への繰り越し		16	100	116	5	16	21	5	16	21	

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1：でん粉年度とは、10月から翌9月まで。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注3：交付金対象用途の「その他」について

ばれいしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、調味料、板紙（層間接着用）、水産養殖用飼料などである。

かんしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、建材などである。

注4：交付金対象用途外の「その他の用途」は、片栗粉などである。

2. 輸入動向

【タピオカでん粉の輸入動向】

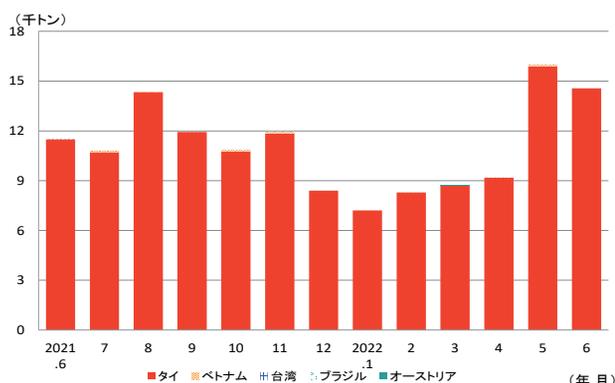
6月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2022年6月のタピオカでん粉の輸入量は、1万4571トン（前年同月比26.4%増、前月比9.0%減）と、前年同月から大幅に増加した（図1）。

輸入先はタイ、ベトナム、ブラジルおよび台湾で、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

タイ	1万4557トン
	（前年同月比26.6%増、前月比8.4%減）
ベトナム	6トン
	（同21.6%減、同94.2%減）
ブラジル	5トン
	（同2.4倍、同48.9%増）
台湾	4トン
	（同84.8%減、同68.6%減）

図1 タピオカでん粉の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090、1108.14-091、1108.14-099

2022年6月の1トン当たりの輸入価格は、7万4246円（前年同月比30.6%高、前月比4.7%高）と、前年同月を大幅に上回った（図2）。

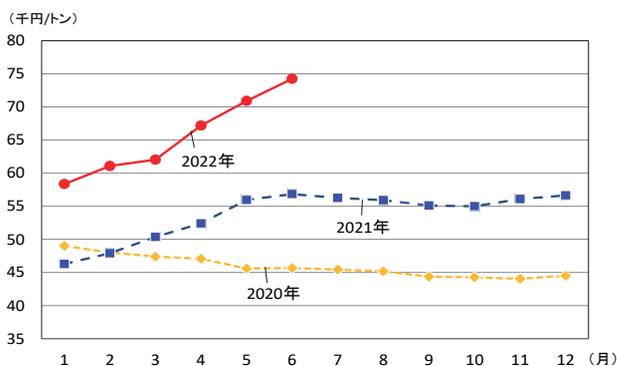
国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

タイ	7万4070円
	（前年同月比31.1%高、前月比4.9%高）
ベトナム	17万7322円
	（同28.9%安、同2.5倍）

ブラジル 38万6730円
(同2.6倍、同39.3%高)

台湾 19万3889円
(同20.2%高、同53.8%安)

図2 タピオカでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090、1108.14-091、1108.14-099

【サゴでん粉の輸入動向】

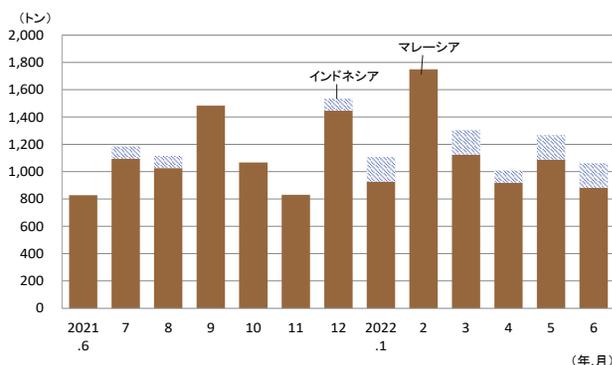
6月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2022年6月のサゴでん粉の輸入量は、1062トン（前年同月比28.3%増、前月16.2%減）と、前年同月から大幅に増加した（図3）。

輸入先はマレーシアおよびインドネシアで、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

マレーシア 882トン
(前年同月比6.5%増、前月比18.9%減)

図3 サゴでん粉の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-017、1108.19-018、1108.19-019

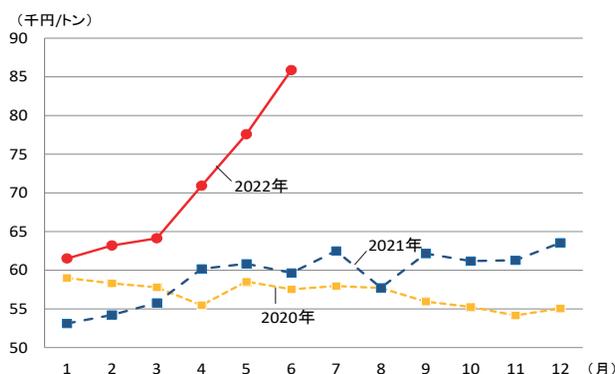
インドネシア 180トン
(前年同月輸入実績なし、前月同)

2022年6月の1トン当たりの輸入価格は、8万5869円（前年同月比44.0%高、前月比10.7%高）と、前年同月を大幅に上回った（図4）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

マレーシア 8万7397円
(前年同月比46.5%高、前月比12.2%高)
インドネシア 7万8383円
(前年同月輸入実績なし、同3.5%高)

図4 サゴでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-017、1108.19-018、1108.19-019

【ばれいしょでん粉の輸入動向】

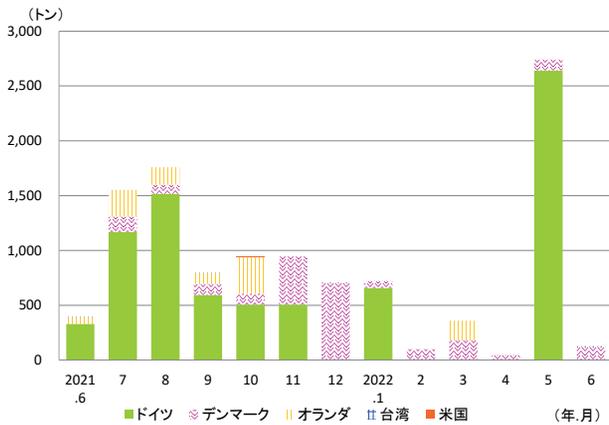
6月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2022年6月のばれいしょでん粉の輸入量は126トン（前年同月比67.9%減、前月比95.4%減）と、前年同月から大幅に減少した（図5）。

輸入先はデンマークおよび台湾で、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

デンマーク 122トン
(前年同月輸入実績なし、前月比22.0%増)
台湾 4トン
(前年同月比36.4%増、前月輸入実績なし)

図5 ばれいしょでん粉の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090、1108.13-091、1108.13-099

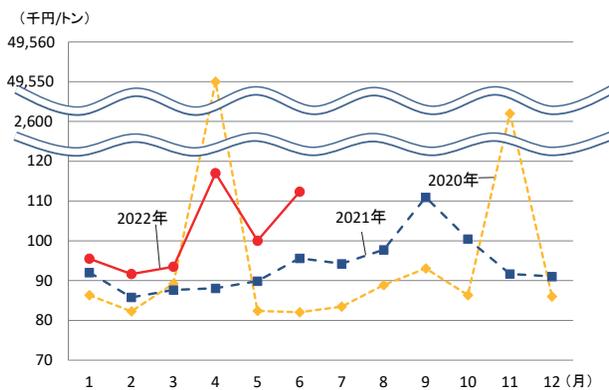
2022年6月の1トン当たりの輸入価格は、11万2354円（前年同月比17.5%高、前月比12.3%高）と、前年同月を大幅に上回った（図6）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

デンマーク 10万1270円
（前年同月輸入実績なし、前月比4.8%高）

台湾 44万2815円
（前年同月比52.3%高、前月輸入実績なし）

図6 ばれいしょでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090、1108.13-091、1108.13-099

【でん粉誘導体の輸入動向】

6月の輸入量は前年同月からやや減少

財務省「貿易統計」によると、2022年6月のでん粉誘導体の輸入量は、3万4622トン（前年同月比3.6%減、前月比13.0%減）と、前年同月からやや減少した（図7）。

でん粉誘導体の輸入先は16カ国・地域で、最大の輸入先はタイであった。主要輸入先からの輸入量は次の通りで、タイが輸入量の約7割を占めており、次いでベトナム、デンマークとなっている（表3）。

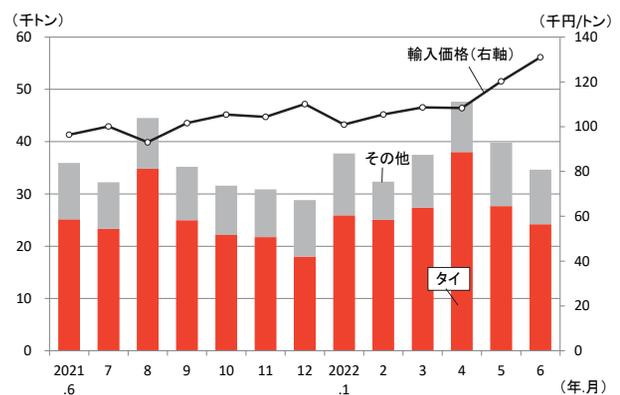
表3 でん粉誘導体の主要輸入先および輸入量（6月）

輸入先国	輸入量（トン）	シェア
合計	34,622	100.0%
うち タイ	24,182	69.8%
ベトナム	1,897	5.5%
デンマーク	1,756	5.1%
フランス	1,427	4.1%
米国	1,223	3.5%
スウェーデン	991	2.9%

資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード3505.10-100

2022年6月の1トン当たりの輸入価格は、13万978円（前年同月比35.8%高、前月比9.0%高）と、前年同月を大幅に上回った。

図7 でん粉誘導体の輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード3505.10-100

【デキストリンの輸入動向】

6月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2022年6月のデキストリンの輸入量は、1103トン（前年同月比20.8%減、前月比11.7%減）と、前年同月から大幅に減少した（図8）。

デキストリンの輸入先は9カ国・地域で、輸入量は上位輸入先の数量および各国のシェアも含め、月ごとの変動が大きい。

上位輸入先からの輸入量は次の通りで、ベトナムおよびタイで輸入量の約6割を占めている（表4）。

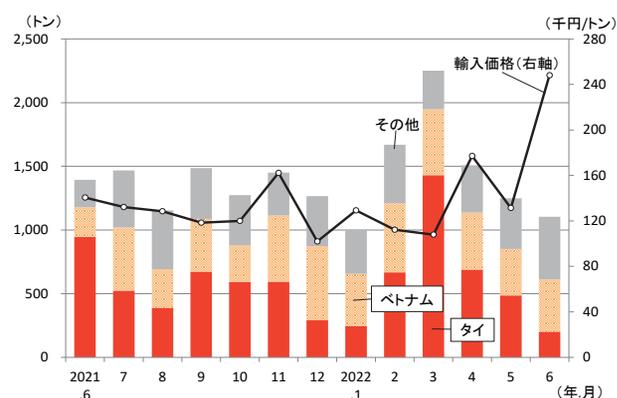
表4 デキストリンの主要輸入先および輸入量(6月)

輸入先国	輸入量（トン）	シェア
合計	1,103	100.0%
うち ベトナム	411	37.2%
タイ	201	18.2%
ベルギー	133	12.1%
米国	131	11.9%
中国	82	7.4%
ドイツ	57	5.2%

資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード3505.10-200

2022年6月の1トン当たりの輸入価格は、24万8123円（前年同月比76.5%高、前月比88.8%高）と、前年同月を大幅に上回った。

図8 デキストリンの輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード3505.10-200

【コーンスターチ用トウモロコシの輸入動向】

6月の輸入量は前年同月からわずかに減少

財務省「貿易統計」によると、2022年6月のコーンスターチ用トウモロコシの輸入量は、26万301トン（前年同月比2.8%減、前月比6.2%減）となり、前年同月からわずかに減少した（図9）。

輸入先は、米国および南アフリカで、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

米国 25万9797トン

（前年同月比20.7%増、前月比9.6%増）

南アフリカ 504トン

（同99.0%減、同99.8%減）

2022年6月の1トン当たりの輸入価格は、5万180円（前年同月比45.1%高、前月比3.9%高）と、前年同月を大幅に上回った。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

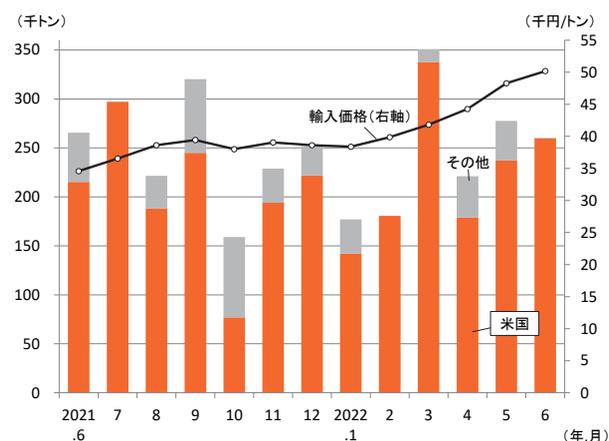
米国 5万171円

（前年同月比46.5%高、前月比3.0%高）

南アフリカ 5万5038円

（同53.2%高、同20.7%高）

図9 コーンスターチ用トウモロコシの輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1005.90-091